



2018年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月10日
東

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所
 コード番号 2216 URL http://www.kanro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三須 和泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 森本 憲治 (TEL) 03 (3370) 8811
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	5,691	11.1	511	71.6	514	72.6	291	49.4
2017年12月期第1四半期	5,120	4.1	297	△18.8	297	△19.0	194	△20.1

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 335百万円(55.4%) 2017年12月期第1四半期 215百万円(1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	81.26	—
2017年12月期第1四半期	53.77	—

※2017年7月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第1四半期	18,392	10,229	55.6
2017年12月期	18,275	10,003	54.7

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 10,229百万円 2017年12月期 10,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	6.00	—	30.00	—
2018年12月期	—	—	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	30.00	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2017年7月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。2017年12月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した1株当たり年間配当金は、2017年12月期は60円00銭となります。

※2018年12月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当30円00銭 特別配当5円00銭

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

※2018年7月1日を効力発生日とし、連結子会社であるひかり製菓株式会社を吸収合併いたします。連結子会社が無くなり2018年12月期第3四半期より非連結となるため、2018年12月期の業績予想は個別業績のみを開示しております。

※詳細は〔添付資料〕2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018年12月期 1 Q	3,828,901株	2017年12月期	3,828,901株
② 期末自己株式数	2018年12月期 1 Q	246,035株	2017年12月期	245,955株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018年12月期 1 Q	3,582,919株	2017年12月期 1 Q	3,623,719株

※ 1. 2017年7月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 期末自己株式数には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) の保有する当社株式 (2018年12月期第1四半期 55,000株、2017年12月期 55,000株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続く中、国内の消費マインドにも持ち直しが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。

キャンディ市場におきましては、グミの消費が依然として好調に推移していることに加え、近年縮小傾向にあった飴の消費に下げ止まりが見られたことから、キャンディ市場全体では前年同期比微増となる状況となりました。

このような経営環境下、量販店、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどチャネルごとの特性に合わせた提案型営業活動による売上拡大、生産設備の効率的な稼働と廃棄損削減による原価低減など利益の拡大に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、飴は主力ブランド商品である「金のミルクキャンディシリーズ」や「ノンシュガースーパーメントールのど飴」などが伸長したことにより前年同期比11.1%の増加、グミは「ピュレグミシリーズ」や「カンデミーナグミシリーズ」などが伸長したことにより前年同期比10.5%の増加となりました。素材菓子は主力商品である「海苔と紀州梅のはさみ焼」などが伸長したことにより前年同期比3.5%の増加となりました。その結果、売上高は前年同期比5億70百万円(11.1%)増収の56億91百万円となりました。

利益面につきましては、売上総利益は、主力ブランド商品の売上が増加したことによる製造ラインの稼働率の上昇と製造現場における改善活動などにより売上原価の低減を図った結果、前年同期比4億47百万円(18.7%)増益の28億45百万円となりました。

営業利益は、売上拡大に伴う販売経費の増加や本社オフィス移転及びC I 変更に伴う一時費用が発生しましたが、前年同期比2億13百万円(71.6%)増益の5億11百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加により前年同期比2億16百万円(72.6%)増益の5億14百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、グミ製造ライン新設のための工場棟改築に係る固定資産の除却損27百万円及び休止資産の減損損失35百万円を特別損失に計上したことなどにより、前年同期比96百万円(49.4%)増益の2億91百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円(0.6%)増加し183億92百万円となりました。

これは主に商品及び製品が1億47百万円、有形固定資産が1億2百万円増加しましたが、売上債権が1億円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ1億8百万円(1.3%)減少し81億63百万円となりました。

これは主に未払金が3億12百万円増加しましたが、未払法人税等が1億27百万円、賞与引当金が2億27百万円、長期借入金が1億22百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億25百万円(2.3%)増加し102億29百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億91百万円の計上による増加と配当金1億9百万円の支払いによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年12月期の通期個別業績予想につきましては、2018年2月8日発表の業績予想に変更はありません。なお、2018年12月期の通期個別業績予想は以下のとおりであります。

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	21,500	—	640	—	730	—	円 銭 203.74

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202,534	2,160,021
受取手形及び売掛金	5,442,866	5,342,697
商品及び製品	419,280	566,555
仕掛品	5,508	58,228
原材料及び貯蔵品	196,565	208,570
その他	409,227	307,589
流動資産合計	8,675,981	8,643,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,367,339	8,262,642
減価償却累計額	△5,183,164	△5,039,311
建物及び構築物(純額)	3,184,174	3,223,331
機械装置及び運搬具	12,007,254	11,629,931
減価償却累計額	△9,604,385	△9,249,374
機械装置及び運搬具(純額)	2,402,868	2,380,556
土地	1,736,712	1,736,712
建設仮勘定	382,781	397,660
その他	899,781	937,419
減価償却累計額	△685,733	△652,563
その他(純額)	214,047	284,855
有形固定資産合計	7,920,585	8,023,116
無形固定資産	149,540	147,171
投資その他の資産		
投資有価証券	649,798	710,783
その他	879,188	867,932
投資その他の資産合計	1,528,986	1,578,716
固定資産合計	9,599,111	9,749,005
資産合計	18,275,093	18,392,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,591,585	1,647,606
短期借入金	490,000	490,000
未払金	660,082	972,260
未払費用	1,628,128	1,590,871
未払法人税等	182,562	55,269
賞与引当金	482,385	255,080
役員賞与引当金	34,700	8,640
その他	365,988	421,366
流動負債合計	5,435,431	5,441,095
固定負債		
長期借入金	757,500	635,000
退職給付に係る負債	1,926,246	1,934,014
役員株式給付引当金	23,801	33,033
その他	128,754	120,290
固定負債合計	2,836,302	2,722,337
負債合計	8,271,733	8,163,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,550,983	2,550,983
利益剰余金	4,795,421	4,977,438
自己株式	△472,806	△473,079
株主資本合計	9,737,849	9,919,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,268	312,360
退職給付に係る調整累計額	△4,758	△2,717
その他の包括利益累計額合計	265,509	309,642
純資産合計	10,003,359	10,229,235
負債純資産合計	18,275,093	18,392,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
売上高	5,120,754	5,691,043
売上原価	2,723,419	2,845,917
売上総利益	2,397,335	2,845,126
販売費及び一般管理費	2,099,342	2,333,756
営業利益	297,992	511,370
営業外収益		
受取利息	52	41
受取配当金	104	15
売電収入	1,600	1,610
その他	2,181	4,487
営業外収益合計	3,939	6,155
営業外費用		
支払利息	2,214	1,609
売電費用	1,571	1,571
その他	386	280
営業外費用合計	4,172	3,461
経常利益	297,759	514,064
特別利益		
固定資産売却益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	227	36,540
減損損失	2,108	35,800
特別退職金	—	19,376
特別損失合計	2,335	91,717
税金等調整前四半期純利益	295,435	422,347
法人税、住民税及び事業税	9,122	37,088
法人税等調整額	91,469	94,104
法人税等合計	100,592	131,192
四半期純利益	194,843	291,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	194,843	291,155

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	194,843	291,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,576	42,092
退職給付に係る調整額	2,361	2,041
その他の包括利益合計	20,937	44,133
四半期包括利益	215,781	335,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,781	335,288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。